

支えあいのまちづくり協議体（京橋地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体（第2層協議体）」の令和3年度第4回目を、京橋地域で開催しました。

1 実施日

令和3年11月24日（水）10:00～11:30

2 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 10名

3 内容

- ・出席者近況報告
- ・前回の振り返り（「地域のつながりづくり」に向けた情報発信について）
- ・意見交換 「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～（案）」の発行について

4 出席者近況報告の要旨

最近の地域活動や参加者の声をはじめ、コロナが落ち着いてきたことでできるようになった活動や各種事業、これまで潜在化していた問題が表面化してきたことなどについて話を伺った。

5 前回の振り返り

前回の協議体では、コーディネーターが中心となり「コーディネーター通信（案）」を作成し、紙媒体及びSNSを活用し発信することを提案。内容については、京橋地域の情報発信に向け各メンバーの意見を踏まえ試行錯誤を繰り返しながら完成形を目指すことを当面の方針とした。

その後、広報紙の素案を示し①タイトル、②本協議体として広報紙に掲載したいスローガンをワークシートに記入し、全体で共有したことを確認した。

6 意見交換 「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～（案）」の発行について

前回の協議結果を踏まえ、コーディネーターより広報紙案を提示。タイトルについては、「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～（案）」で仮決定したことを共有した。スローガンについては敢えて1つに絞らず、協議体メンバーのひとりひとりのスローガンとして初回の広報紙に掲載することを提案した。

掲載内容については、コーディネーターより大枠を提示し、フリートークで意見交換を行った。意見交換の内容は図1の通り。

(図1)「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～(案)」の発行について

掲載内容

- 地域のサロン、イベント情報
 - ✓ イベントに関するチラシもあるので内容が重複するのでは？
 - ✓ サロンやインフォーマル情報の方が魅力的
 - 相談支援機関のご紹介
 - ✓ 相談支援の流れ(例:施設入居の流れ)などが分かると問合せしやすい
 - Q&Aなどを載せるのもよいかも
 - 協議体メンバーからの情報発信
 - ✓ 協議体メンバーの活動をPRする
 - ✓ 地域の店、認知症サポーターのいる店、車椅子で入店可能な店の情報、お節介さんに会える場所
 - アンケートや実際に足を運んで調査する
 - ✓ 認知症を診てくれるクリニックの情報
 - ✓ 自分発信やりたいこと(情報をもらえるようにする。情報下さいページ。)
- 双子バギー利用の親子にも助かる!
- ↓

配布先

- 町会自治会
 - (参考) 掲示の場合約 1,000 件、回覧の場合約 3,200 件
- 京橋地域の福祉関係機関
 - ✓ ケアマネジャーにも配布した方がよい
- 区民館
- その他
 - ✓ マンション
 - ✓ (聖路加)病院、病院内カフェ

作成頻度

- 隔月発行
 - ✓ 隔月なら、ホームページなどでフレッシュな情報を届けられるようケアする必要がある
 - ✓ 隔月は情報が限定されてしまい、タイムリーとは言えないかも
 - ✓ 期限のある情報も載せるのであれば、尚更、毎月発行がよいのでは？

広報紙のサイズ

- A4 片面
 - ✓ このサイズでよい
 - ✓ 文字のサイズもこれ以上小さくなると読みにくい

その他の意見

- ✓ SNSとも連動できるとよい
 - (例)PIAZZA・・・開始時には大々的に宣伝したと聞いている
- ✓ 大々的に広報したところで、反応はわずからしい
- ✓ アウトプットをどうみるか

7 今後のスケジュール

次回は令和4年1月下旬～2月上旬に開催予定。

今回の意見交換の結果を踏まえ、内容を精査することとした。

<参考> 意見交換の様子・結果

